

江東区環境基本計画（素案）について

1 概要

現行計画の計画期間が、令和6年度で終了することから、今年度、令和7年度から令和12(2030)年度までの6年間を計画期間とする新たな計画を策定している。

このたび、計画策定に係る諮問を受けている、区長の附属機関である環境審議会において環境基本計画（素案）が示された。

2 計画策定に向けた新たな視点

計画の目標（目指すべき区の環境像）は、江東区基本構想に示された大綱の一つ「水と緑豊かな地球環境にやさしいまち」を引き継ぎ、新たに次の視点を追加した。

(1) 「ゼロカーボンシティ江東区」の実現

2050年までのゼロカーボンの達成のため、令和6年3月に策定した「ゼロカーボンシティ江東区実現プラン」をはじめ、国の計画等と整合を図りながら、地球温暖化対策の強化を図る。

(2) 計画の柱の再編

現行計画の「6つの柱」は、国の第六次環境基本計画の重点戦略を参考に、①脱炭素社会、②循環型社会、③自然共生社会、④安全・安心・快適な生活環境、⑤環境教育・パートナーシップの5つに再編する。

(3) 「ウェルビーイング/高い生活の質」の実現

国の第六次環境基本計画で示された環境政策を起点とする様々な経済・社会的課題を同時に解決していく「ウェルビーイング」の視点を各柱に追加する。

(4) 重点事業・指標・具体的取組の見直し

現在策定中の「江東区長期計画（後期）」や関連計画の内容、国内外の動向等を踏まえて修正する。

(5) 計画書のスリム化

具体的な取り組みについては、現行計画・ゼロカーボンシティ江東区実現プランに記載の取組内容を統合・見直し、読みやすい計画書を目指す。

3 施策体系

計画の目標	計画の柱	取組方針
水と緑豊かな地球環境にやさしいまち	1 脱炭素社会の実現 ～ゼロカーボンシティ江東区実現プラン～ 柱1 再生可能エネルギーへの転換 柱2 建築物における脱炭素化 柱3 モビリティにおける脱炭素化 柱7 公共施設における脱炭素化	1-1 再生可能エネルギーへの転換
		1-2 家庭・事業所における脱炭素化
		1-3 モビリティにおける脱炭素化
		1-4 公共施設における脱炭素化
	2 循環型社会の実現	2-1 5Rの推進
		2-2 ごみの適正処理の推進
	3 自然共生社会の実現 柱5 みどりの保全・育成	3-1 生物多様性の保全
		3-2 みどりの創出と保全
		3-3 水辺に親しめる環境づくり
	4 安全・安心・快適な生活環境の確保 柱6 気候変動の影響への適応	4-1 良好な生活環境づくり
		4-2 清潔で快適な環境づくり
		4-3 気候変動の影響への適応
	5 環境教育及びパートナーシップの充実 柱4 産学官民一体の推進体制の構築	5-1 環境配慮行動の拡大
		5-2 環境教育・学習の推進
		5-3 多様な主体が取り組むエコ意識の向上

※ [] はゼロカーボンシティ江東区実現プランの該当するプランの柱

4 今後の策定スケジュール（予定）

令和6年 10～11月 パブリックコメントの実施（10月21日号区報）

令和7年 2月 区長に環境審議会より計画（案）の答申

2月 区民環境委員会へ計画（案）及びパブリックコメント結果概要の報告

3月末 計画策定